

ハラスメントに関するアンケート調査結果より

(2016年3月 東京経済大学 人権委員会)

[今回のアンケート調査について]

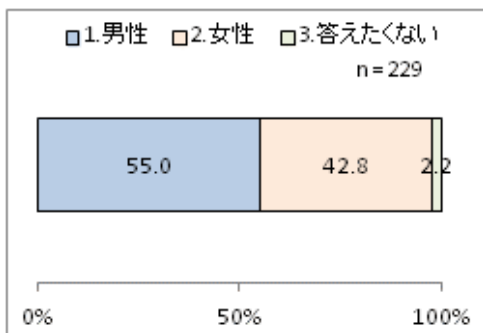
- 【調査目的】 ① 本学における教育・研究・就業上のハラスメントにかかわる意識や実態像につき統計的な数値で捉える、② 現状の防止施策等が実際に対応できているかを検証
- 【アンケート実施期間】 2015(平成27)年10月19日～11月15日
- 【調査対象】 教職員注・TA・大学院生 注: 業務委託・契約・派遣等の非専任職員や従業者の方を含む。
- 【アンケート方法】 無記名。Web(本学ポータル)によるもの 及び 調査票(紙媒体)によるものを併用。
- 【アンケート回答者数】 229名(発出総数819に対し、28.0%)

[調査結果の概要]

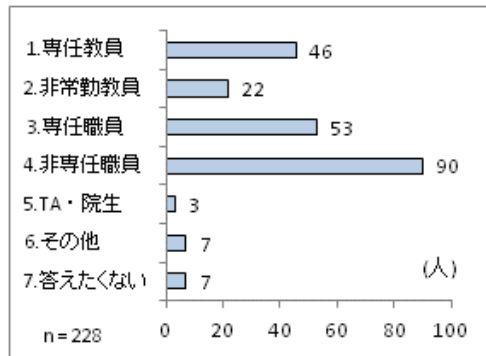
問1 あなた自身のことについておたずねします。(性別・職種・年代)

◇ 回答状況は、男性 55.0%、女性 42.8%。詳細は、下記参照。

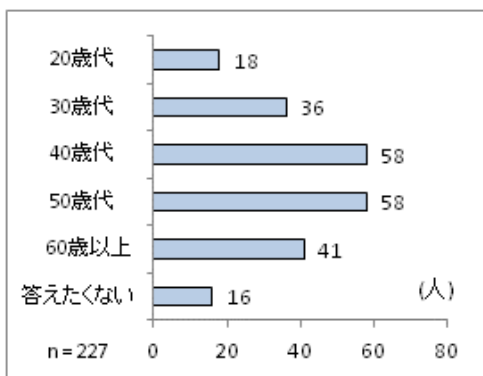
(1) あなたの性別は？



(2) 職種などは？



(3) 年齢層は？



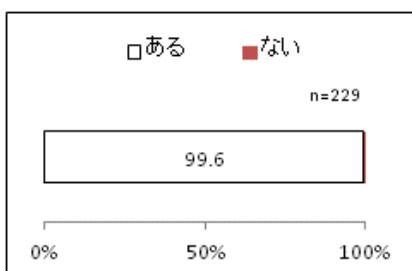
注: 各職種等別にみた回答状況は、次のとおり。

- 専任教員 : 29.6%
- 非常勤教員 : 11.1%
- 専任職員 : 44.5%
- 非専任職員 : 44.1%
- TA・院生 : 4.2%

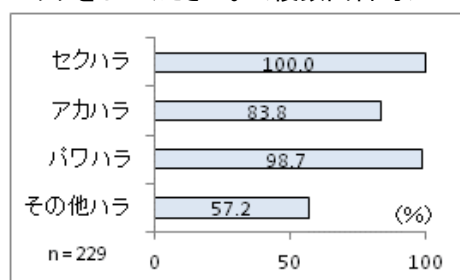
問2 一般的な知識についておたずねします。

◇ ほとんどの者が、「聞いたことがある」としており、また、用語についても承知している。

(1) 「ハラスメント」という言葉を聞いたことがありますか？



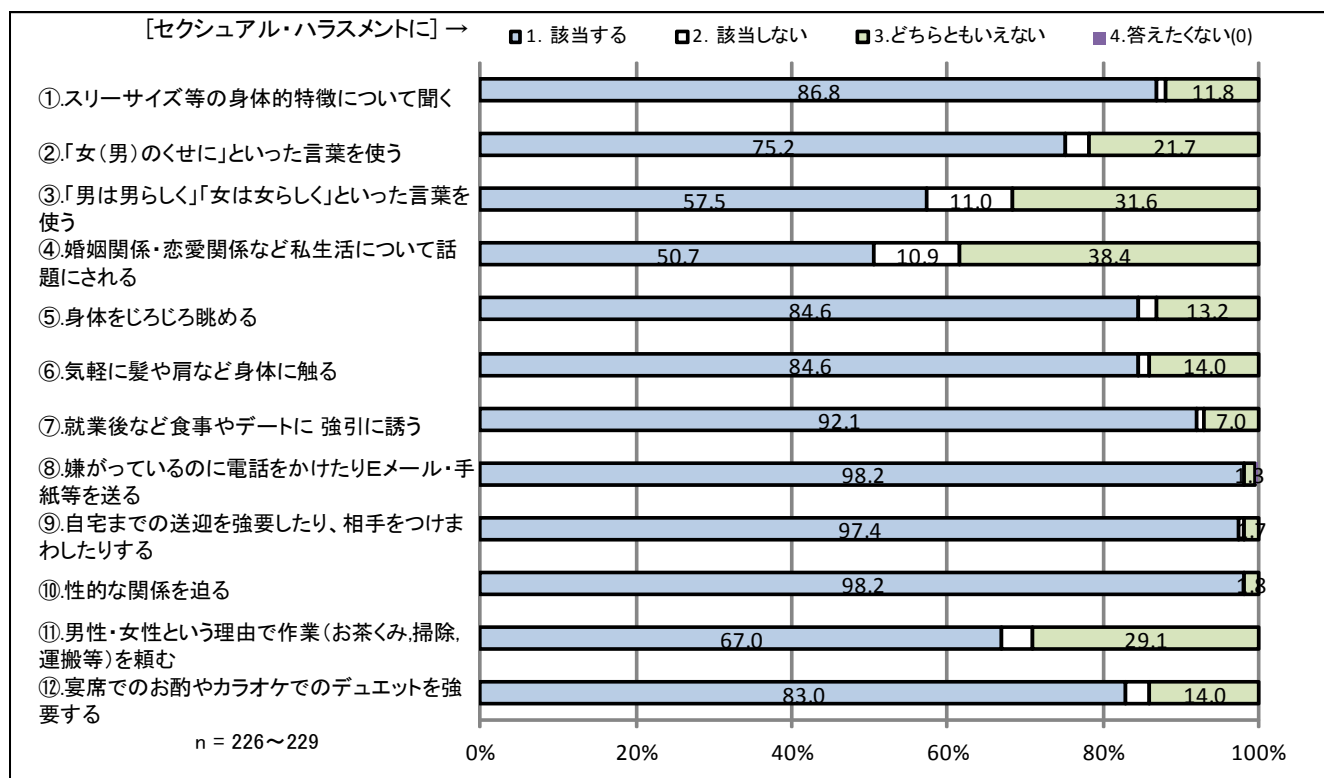
(2) ハラスメントは総称ですが、次のうち知っているものにチェックをしてください。＜複数回答可＞



問3 「セクシュアル・ハラスメント」に関する今のあなたの認識・意識を教えてください。

(1)あなたは、次のような行為をされたら(あるいは人がそうされているのを見たり聞いたりしたら)、どう感じますか？

◇ 総じて「該当する」が多いが、項目別にみると「どちらともいえない」が、④私生活話題、③男・女らしく、⑪お茶汲み等で3割前後みられる。

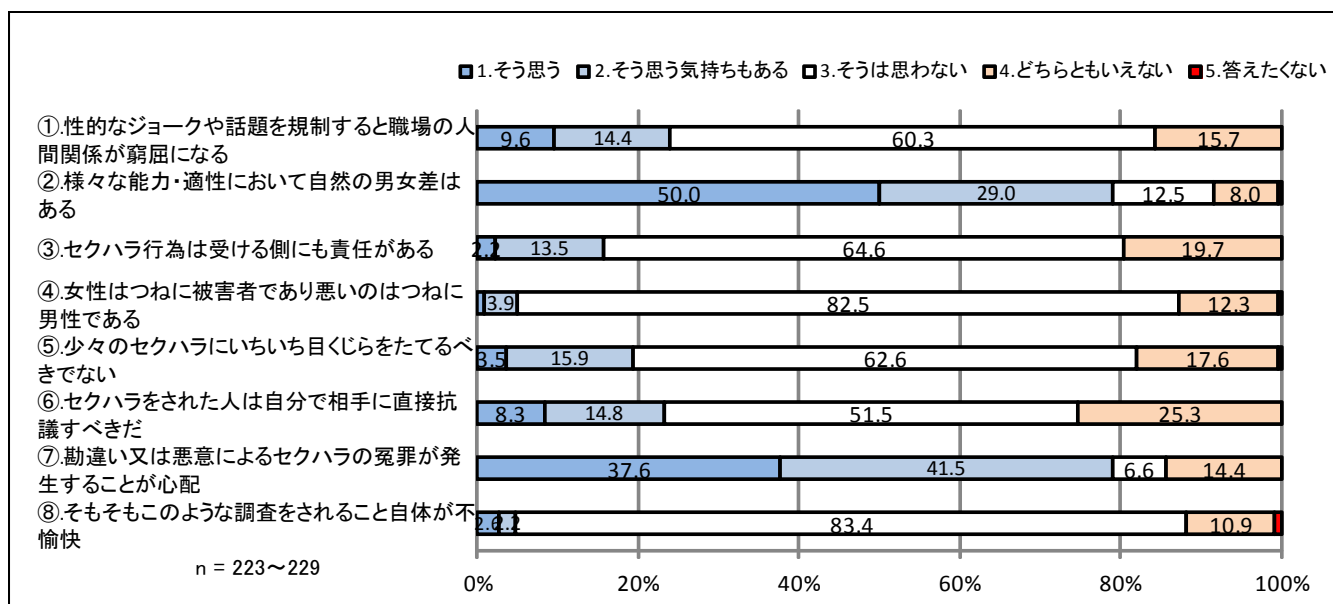


(2)セクシュアル・ハラスメントに関するあなたの率直な意見をお聞かせください。

◇ 「そう思う」+「その気持ちもある」の合計でみて、⑦冤罪等が心配、②自然の男女差はあるの2つにおいて約8割と、他とは顕著な違いがある。これを回答者の男女別の内訳でみると、⑦は男性が 83.3%(46.0%+37.3%)、女性が 74.5%(26.5%+48.0%)となっている。また、②は男性が 84.2%(48.4%+25.8%)、女性が 85.4%(53.1%+32.3%)である。

◇ それ以外については、「そう思う」+「その気持ちもある」の合計は4分の1以下である。

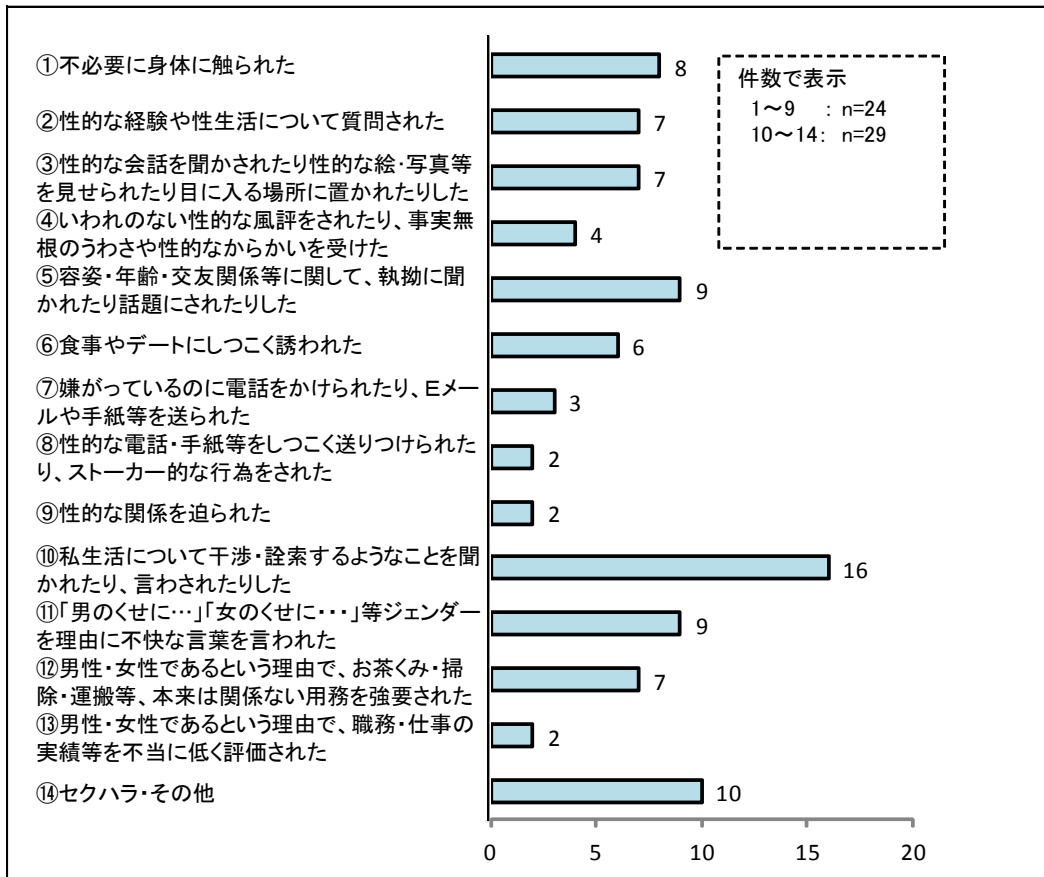
◇ なお、⑥自分で抗議を、などで「どちらともいえない」とする者がある程度みられる



問4 本学との関連における、あなた自身の体験についておたずねします。

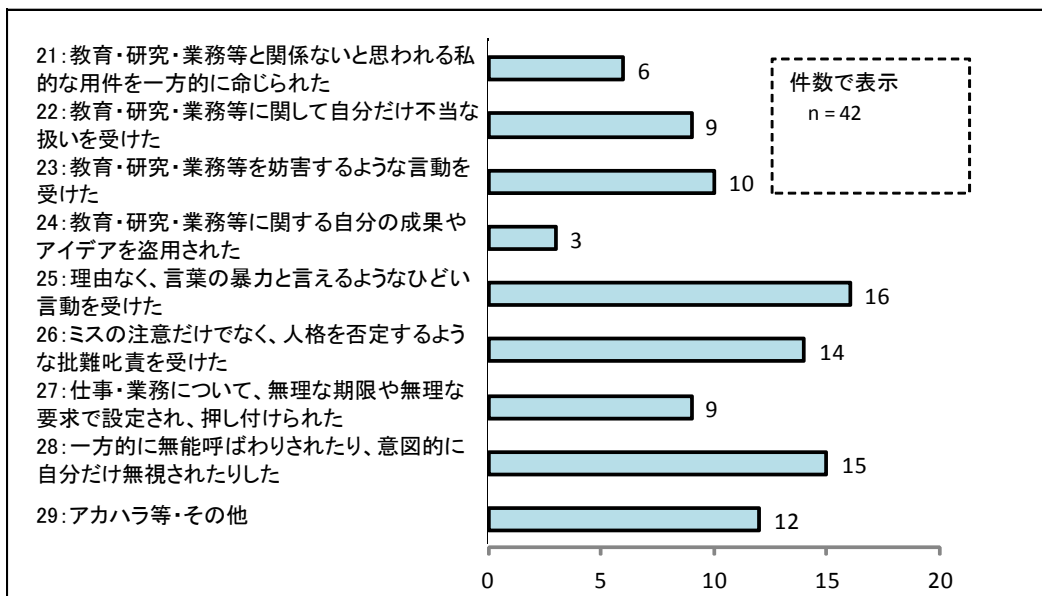
(1)&(2)[セクハラ等]:あなたは本学との関連において、次のような行為を受けた体験がありますか? <複数回答可>

◇ 件数として多かったのは、⑩私生活の詮索、⑭その他(記入)、⑤容姿・年齢・交友等を執拗に、⑪ジェンダー理由の不快な言動、の順となっている。



(3)[アカハラ・パワハラ等]:あなたは本学との関連において、次のような行為を受けた体験がありますか? <複数回答可>

◇ 件数として多いのは、<25>言葉の暴力のような言動、<28>一方的に無能呼ばわり・無視、<26>人格を否定するような批難、<29>その他(記入)、<23>研究・業務等を妨害するような言動、の順となっている。



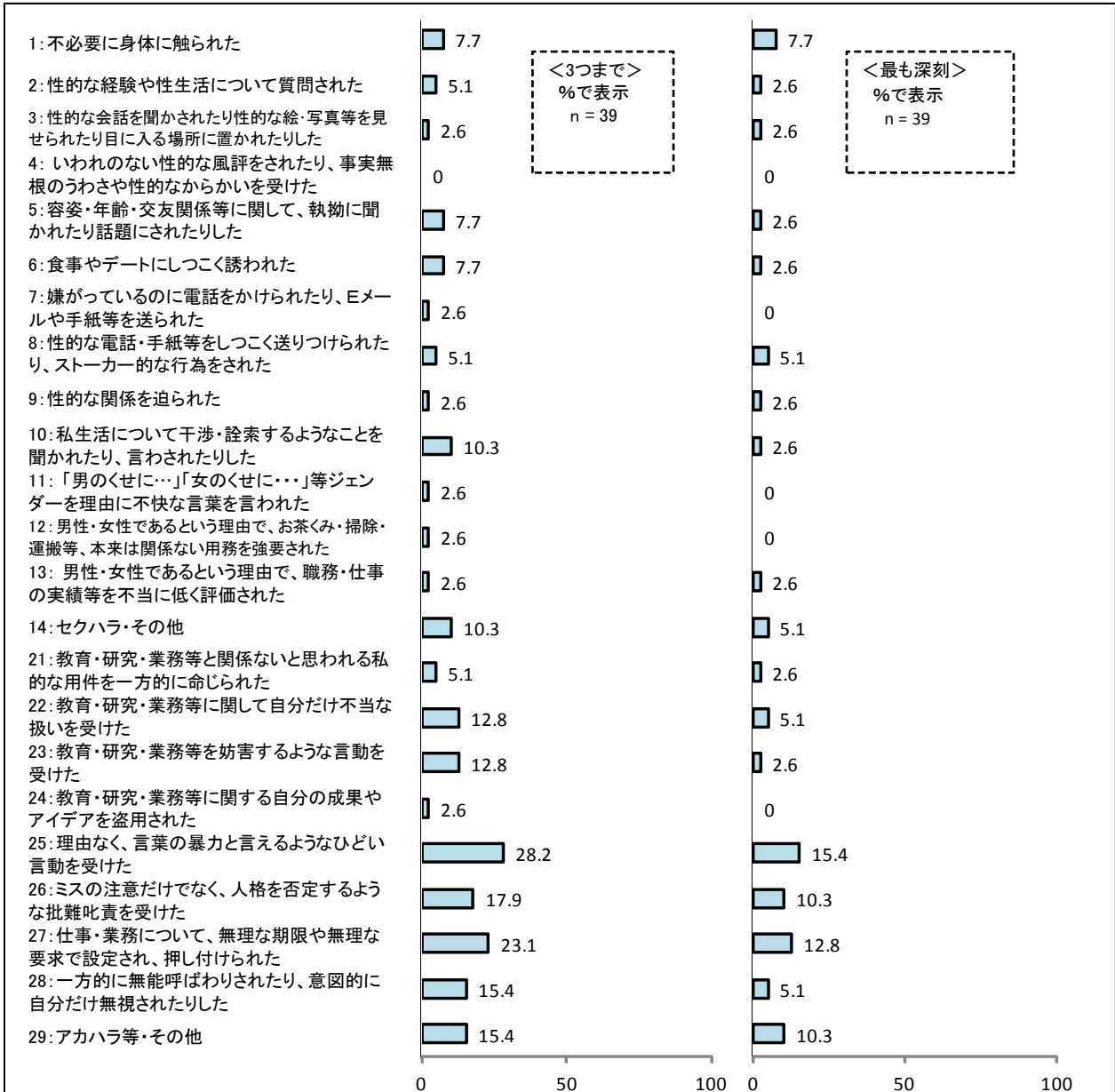
(4)[確認用]:上記の(1)から(3)に関して、チェックや書き込みの有無についておたずねします。 <どちらか1つ>

・回答状況(n=178)は、「チェック・書き込みあり」が 43 名(24.2%)、「該当なし」が 135 名(75.8%)。

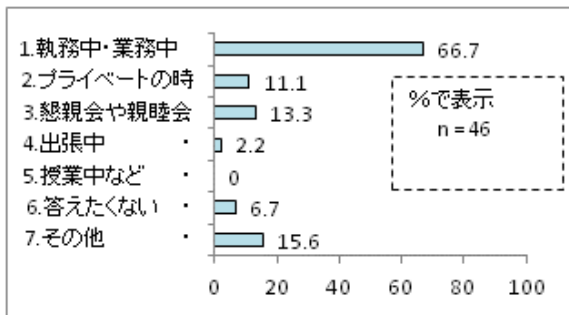
◇ この欄で「チェック等あり」とするものが 24.2%あり(母数全体[229]からみると 18.8%)、4~5人に一人が経験ありという状況。

問5 上記(体験)について、あなたにとっての深刻度やその状況についてお聞きします。

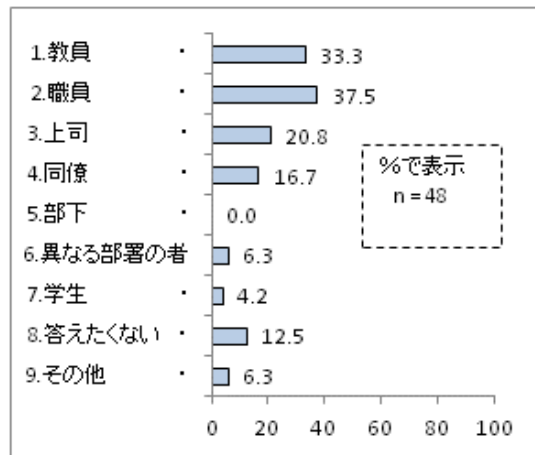
(1)&(2)あなたにとって深刻だったものの番号を記入してください(1~29)。<「3つまで」と「最も深刻だったもの(1つ)」>



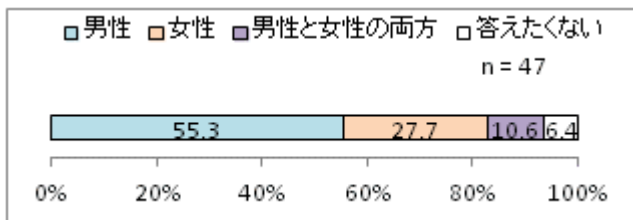
(3) その行為は、どのようなときでしたか？ <複数回答可>



(5) 相手方はどのような立場の人ですか？ <複数回答可>

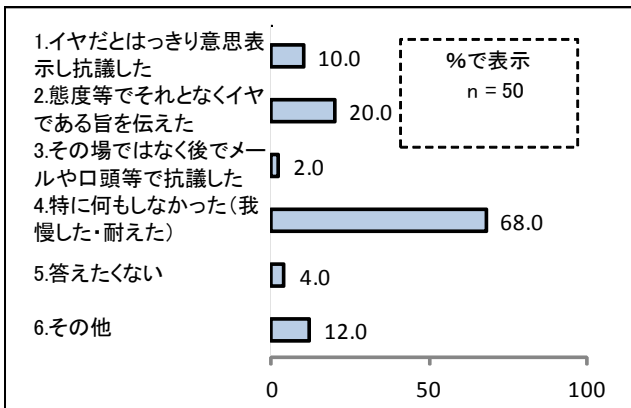


(4) 相手方の性別は？ <どれか1つ>

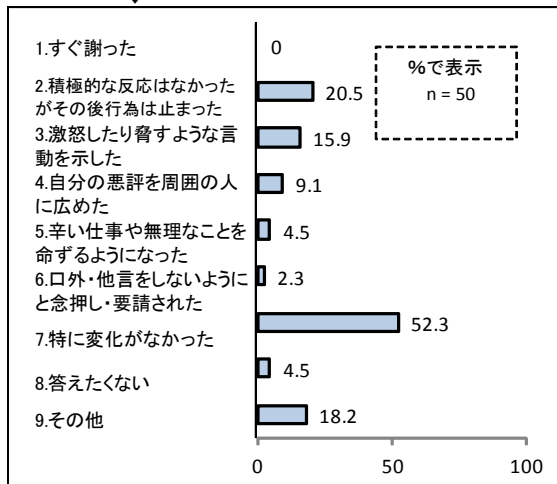


(6) そのときの状況について、おたずねします。

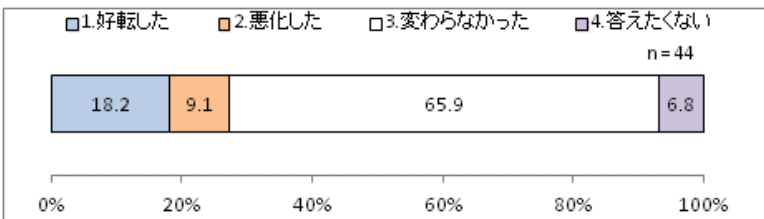
a) そのときあなたは、相手方に対してどのように対応しましたか？ <複数回答可>



b) 相手方はどのような反応をしましたか？ <複数回答可>



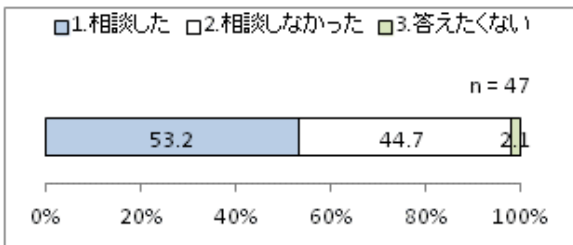
c) その結果、事態はどうなりましたか。 <どれか1つ>



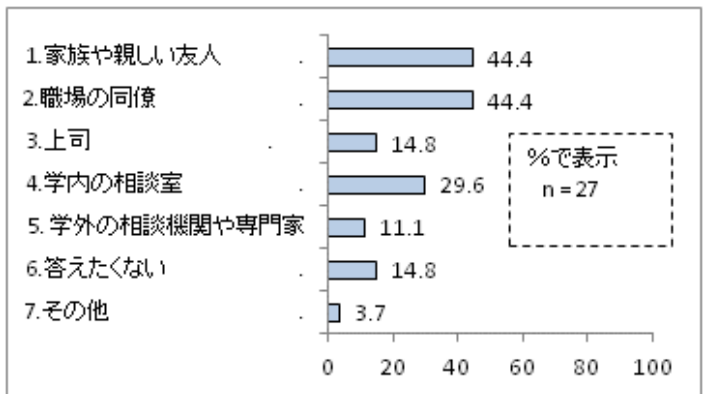
(7) 相手方以外への対応についてお聞きます。

◇ 「相談した」とするものが、やや多い。相談相手は、家族・友人、職場の同僚などが多くみられる。学内の相談室は、約3割となっている。相談しなかった理由は、「そもそも人に知られたくない事柄だった」、解決できそうもないあるいは比較的軽微であるとして「我慢した」というものが多い。

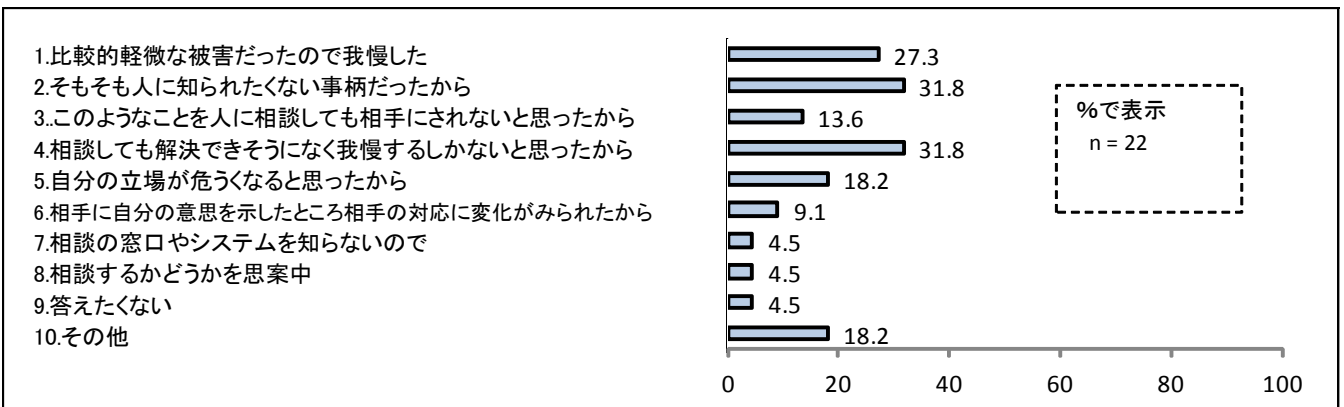
a) 第三者に相談などをしましたか？ <どれか1つ>



b) 「相談した」という方にお聞きます。誰に相談しましたか？

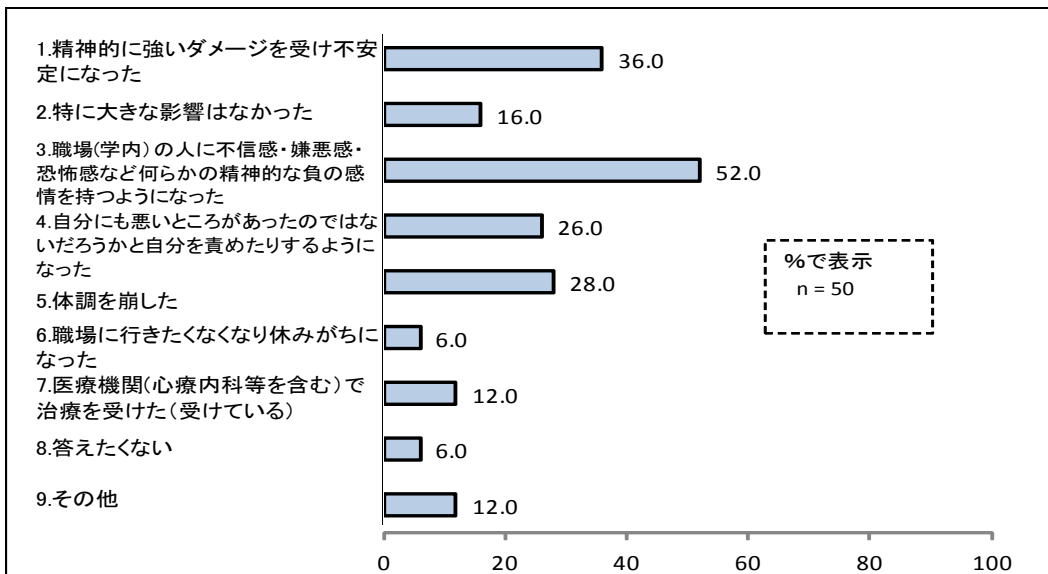


c) 「相談しなかった」という方にお聞きます。相談しなかった理由について教えてください。 <複数回答可>



(8) 当該ハラスメント行為によって、あなたはどのような影響を受けましたか(複数回答可)

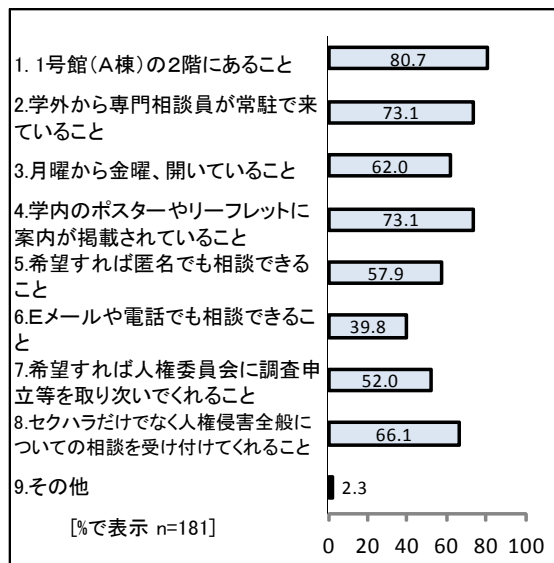
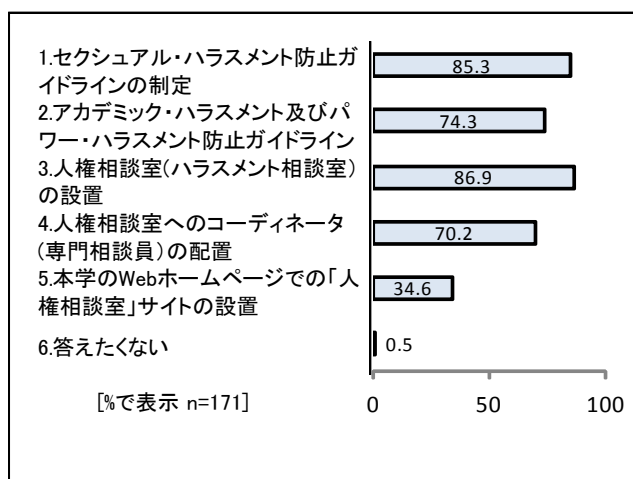
◇「不信感・嫌悪感等、何らかの精神的な負の感情を持つようになった」とするものが半数を超えるなど、精神的・身体的な負担やストレスが生じていることがうかがえる。



問6 本学のハラスメント防止に関する取組みについてお聞きします。

◇ 相当程度知られているといえるが、項目によっては6割を下回るものもみられる。

- (1) 次の項目について、設置(設定・配置)されているのをご存知でしたか(複数回答可) (2) 本学の人権相談室について、知っていることを選んでください(複数回答可)



問7 本学のハラスメント防止に関する取組みについてお聞きします。

◇「ハラスメント防止の啓蒙活動の強化」、「意見箱等、気軽に声を出せる状況を作る」、「人権相談室の存在をもっとPRする」などの順になっている。

